

## 今里駅(地下鉄千日前線・今里筋線)

## シルクロード・暗越奈良街道を歩く



「大阪あそび歩マップ集」  
その1 No.032

## 地下鉄今里駅

## ①今里ロータリー(今里交差点)

このあたりは大正時代までは東成郡で、大正14年(1925)、大阪市に編入されました。今里交差点はかつては信号がないロータリー(昭和9年〔1934〕完成)で、車は円を描くように流れていましたが、昭和30年(1955)に信号がつけられ、ロータリーでなくなりしました。しかし、いまだに地元の人は「今里ロータリー」と呼んでいます。

## ②暗越奈良街道

大阪と奈良を結ぶ街道は数多くありますが、ほぼ一直線の最短道が、暗越奈良街道です。古代からあり、港(大阪)と都(奈良)を結ぶシルクロードでした。生駒山を越える際に、樹木が茂って昼でも暗い「くらがり峠」を越えることから、この名前がついたといえます。江戸時代には伊勢参りに利用され、東海道のような関所もなく、1日に7~8万人もの人が通る賑やかな街道でした。



## ③謎のコンドル(今里西之口公園)

謎のコンドル(石のレリーフ)があります。地元の古老の話では、昭和10年(1935)ごろからこの付

近にあったといえます。ある百貨店に掲げてあったという説やワイン工場にあったレリーフであったという説などがあります。



## ④妙法寺

江戸時代の国学者で有名な契沖けいちゅう(1640~1701)が10年間住職を務めました。契沖は妙法寺で『万葉代匠記』という『万葉集』の注釈書を書き、その功績が認められて、水戸光圀から香炉が贈られています。水戸家の三つ葉葵の紋が入ったものはいへんめずらしく、以前は本堂の線香立てとして使用されていました。また妙法寺は大黒天さんが有名で、「南にては今宮のえびす、東にては今里の大黒」といわれたほど参拝客で繁栄しました。

## ⑤火袋式道標(笠とうろう)

以前は千日前通(産業道路)南側にありました。めずらしい火袋式で、中にろうそくを灯し、夜間通行を助けたものです。江戸時代、夜間は旅をしませんから、物資の夜間運搬用にとうろう型にしたようです。設置したのは「江戸積の釘問屋」と表示されています。

## ⑥神路小学校

神路かみじ小学校は現存する中では東成区で一番古い小学校です。神路は地名で、初代天皇の神武天皇が暗越奈良街道を通って東征したという伝承から名づけられました。

## ⑦東成新道ロード商店街

暗越奈良街道の「旧道」と対比して「新道」と名づけられました。昭和初期から続く商店街で、看板やのれん、店構えがいかに昭和レトロの風情がたっぷりです。

## 地下鉄今里駅

